GSYS Digitizer (Ver. 2.4.*) Quick Practice (Naohiko Otsuka n.otsuka@iaea.org)

(1) Install

1-1. Gsys2.4.*.exe を http://www.jcprg.org/gsys/ からダウンロード
1-2. Gsys2.4.* のアイコンをクリックしてスタート
1-3. 実行ファイルが動かない場合、Java をチェック

(2) Customize Properties (設定変更)

2-1. "Edit" をクリック、ボックスから "Properties".
2-2. ポイントの色と大きさ Unmarked data= Green、 Point size=2.
2-3. "Apply" を押して適用.

(3) Load Graph Image to GSYS (練習用)

3-1. 練習用の画(6a, 7a)を http://www-nds.iaea.org/nrdc/wsin_2011/ からダウンロード
3-2. GSYS ウィンドウに画をドラッグ. ウィンドウの大きさはマウスで変更可。
3-3. 画の表示は "Magnify" や "Shrink" で変更(もしくは "+" or "-")。

(4) Define X- and Y-Axis (軸の設定)

4-1. ツールバーの "Xa"("Ya")を選択(赤くなる)。
4-2. X(Y)-軸上の二点を選ぶ。
4-3. Axis Manager Window に開始値と終了値を入れる。
(4-4a). "Auto"を押し、ボックスで軸を選択する。
(4-4b). 軸上のメモリを自動で読み込み、始点と終点を確認する。

(5) Mark Data Points (データ点を選択)

5-1. "Ad"を押すとマーカー点を打てる。 5-2. 各々のデータ点に合わせて打点する。

(6) Adjust Positions of Marked Data Points (データ点の微調整) 6-1. "Ad"を赤い状態の場合もう一度おして白い状態に戻す。 6-2. マーク点を選択し、マウスやカーソルキーで調整を行う。 (6-3). "Glass" ボタンを使って拡大しながらも出来る。

(7) Mark Error Bars (エラーバーの追加Yの場合)

7-1. "Yerr (sy)".を選択。ボタンは赤くなる(二段階) 7-2. マーク点を選択し点の上辺りをクリックするとエラーバーが現われる。 (7-3.) "Yerr (asy)" はエラーバーが非対称の場合に使う。

(8) Adjust Length of Error Bars (エラーバーの微調整)

8-1. "Yerr (sy)" を白い状態にする。
8-2. マーク点を選択してからエラーバーを選択し、調整
8-3. 調整はマウスでもカーソルキーでも可。

(9) Output Numerical Data (データの出力)

9-1. **"Edit"**を選択し、**"Output Numerical Data"**を選択 9-2. 出力用のウィンドウの **"Write"**を押す。